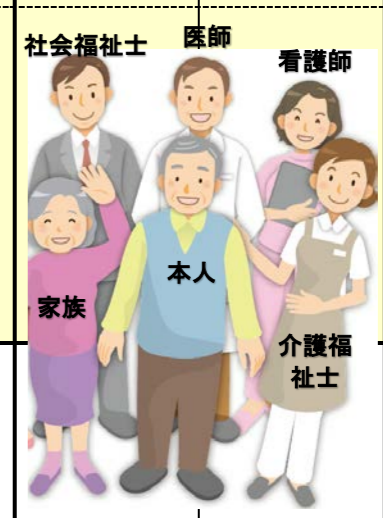


2014年度認知症施策スケジュール

20140821第3回町田市高齢社会総合計画審議会(資料4-1)

事業項目	～2013年度	2014年度												2015年度～
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 認知症ケアパスの作成・普及	<ul style="list-style-type: none"> ■2013年度・東京都こころと体の健康実態調査・セルフ式認知症発見シート(約7,000人) 		<ul style="list-style-type: none"> ■5/27 認知症地域支援推進員連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ■6/11 東京都実態調査報告プレス発表 	<ul style="list-style-type: none"> ■7/2 認知症地域支援推進員連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアパス原案作成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアパス(案)検討 □9/下旬 認知症地域支援推進員連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアパス(案)検討 □11/初旬 認知症地域支援推進員連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> □1/下旬 認知症地域支援推進員連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> 町田市認知症ケアパス策定(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> □3/下旬 認知症地域支援推進員連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> 町田市認知症ケアパス普及 		
2 認知症初期集中支援チームの設置 (2014年8月1日要綱施行予定)	<ul style="list-style-type: none"> ■1/30 第1回ワーキング ■3/7 第2回ワーキング 	<ul style="list-style-type: none"> ■5/9 第3回ワーキング →各支援センター2ケース抽出 	<ul style="list-style-type: none"> ■7/6・14 認知症初期集中支援チーム研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■7/30 第4回ワーキング 	<ul style="list-style-type: none"> 1 鶴川圏域 □8/1 鶴川サナトリウムチームの設置 □8/28 第1回鶴川サナトリウムチーム会議 	<ul style="list-style-type: none"> 月4ケース訪問 □9/初回訪問 □10/第2回訪問 	<ul style="list-style-type: none"> □10/第2回鶴川サナトリウムチーム会議 □11/第3回訪問 	<ul style="list-style-type: none"> □12/第3回鶴川サナトリウムチーム会議 □12/第4回訪問 	<ul style="list-style-type: none"> □1/第5回訪問 □2/第4回鶴川サナトリウムチーム会議 	<ul style="list-style-type: none"> □3/第6回訪問 	<ul style="list-style-type: none"> □委託契約 鶴川サナトリウム病院 			
3 町田市認知症施策推進協議会	<p>1. 現状</p> <p>(1) 認知症高齢者の増加と高齢者を支える家族形態の変化 →認知症高齢者、軽度認知症高齢者の増加、単身・高齢者のみ世帯の増加</p> <p>(2) 介護保険サービスを中心とした支援体制のため、軽度認知症から中程度の支援体制が不十分。また、症状進行に合わせたサービスがわかりにくい。</p> <p>(3) 国による認知症の方向性が示されたため、新たに区市町村ごとの対応が求められている。→オレンジプランによる新たなケアの流れ、認知症ケアパスの作成・普及</p>		<p>2. 課題</p> <p>(1) 軽度認知症の方への支援強化が急務</p> <p>(2) 認知症の早期発見・早期受診の支援</p> <p>(3) 認知症の生活機能障害に合わせたサービス体制の整備が必要</p> <p>(4) 単身者・高齢者世帯や介護者等をサポートする仕組みの充実</p>		<p>3. 基本施策・取組みの柱・主な取組み</p> <p>◎第6期介護保険事業計画において、町田市としての認知症施策の方針を示す。</p> <p>→資料4-2「町田市認知症施策の推進(案)」</p>				<p>2 町田圏域</p> □11/こころのホスピタル町田チームの設置 □11/第1回こころのホスピタルチーム会議		<ul style="list-style-type: none"> 月4ケース訪問 □12/初回訪問 	<ul style="list-style-type: none"> □1/第2回こころのホスピタルチーム会議 □1/第2回訪問 	<ul style="list-style-type: none"> □3/第3回こころのホスピタルチーム会議 □3/第4回訪問 	<ul style="list-style-type: none"> □委託契約 こころのホスピタル町田
	<p>3 町田市認知症施策推進協議会</p> <p>11/中旬 第3回協議会</p>		<p>3 堺・忠生圏域</p> □3/常盤病院チームの設置		<p>4 南圏域</p> □3/鶴が丘ガーデンチームの設置		<ul style="list-style-type: none"> □委託契約 常盤病院 □委託契約 鶴が丘ガーデンホスピタル 							
4 第6期町田市介護保険事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ■1/24 審議会 	<ul style="list-style-type: none"> ■4/24 第1回審議会 	<ul style="list-style-type: none"> ■6/26 第2回審議会 	<ul style="list-style-type: none"> ■7/30 第2回協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ■8/21 第3回審議会 	<ul style="list-style-type: none"> □10/3 第4回審議会 	<ul style="list-style-type: none"> □12/第5回審議会 	<ul style="list-style-type: none"> □1/第6回審議会 答申 	<ul style="list-style-type: none"> 第6期町田市介護保険事業計画策定 □行政報告公表 	<ul style="list-style-type: none"> 第6期町田市介護保険事業計画(2015～2017年度) 				



1 認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)2013年度～2017年度

- <これまでのケア>
認知症の人が行動・心理症状等に「危機」が発生してから「事後的な対応」が主眼
- <今後目指すべきケア>
「危機」の発生を防ぐ「早期・事前的な対応」に基本を置く
- <町町村が主体となり実施すべき項目>
1. 標準的な認知症ケアパスの作成・普及
2. 早期診断・早期対応
3. 地域での日常生活・家族の支援の強化
4. 医療・介護サービスを担う人材の育成

- 基本目標:住み慣れた地域での生活継続の推進
□基本施策:統合的な認知症ケアの体制作り
□取組みの柱:
①軽度認知症の支援強化
②認知症早期対応・早期受診の支援
③認知症生活機能障害に合わせたサービス体制の整備
④認知症高齢者やその家族等をサポートする仕組みの充実

2 町田市における認知症施策の推進(案)

- 主な取組み(案)
①-(ア)医師によるもの忘れ相談事業
①-(イ)認知症サポーター養成講座事業
①-(ウ)認知症総合相談窓口(2012年度～)
①-(エ)認知症ケアに関わる多職種協働研修の推進(新規)

- 主な取組み(案)
②-(オ)認知症地域支援推進員の育成
②-(カ)認知症初期集中支援チーム事業(新規・2014年度～)
③-(キ)町田市認知症施策推進協議会における協議・検討(2013年度～)
③-(ク)認知症ケアパスの作成・普及(新規・2014年度～)
④-(ケ)臨床心理士による介護者等相談
④-(コ)徘徊高齢者家族支援サービス事業
④-(サ)(仮称)認知症カフェの設置(新規)

3

認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気なんだ。高齢者支援センターに相談してみよう。

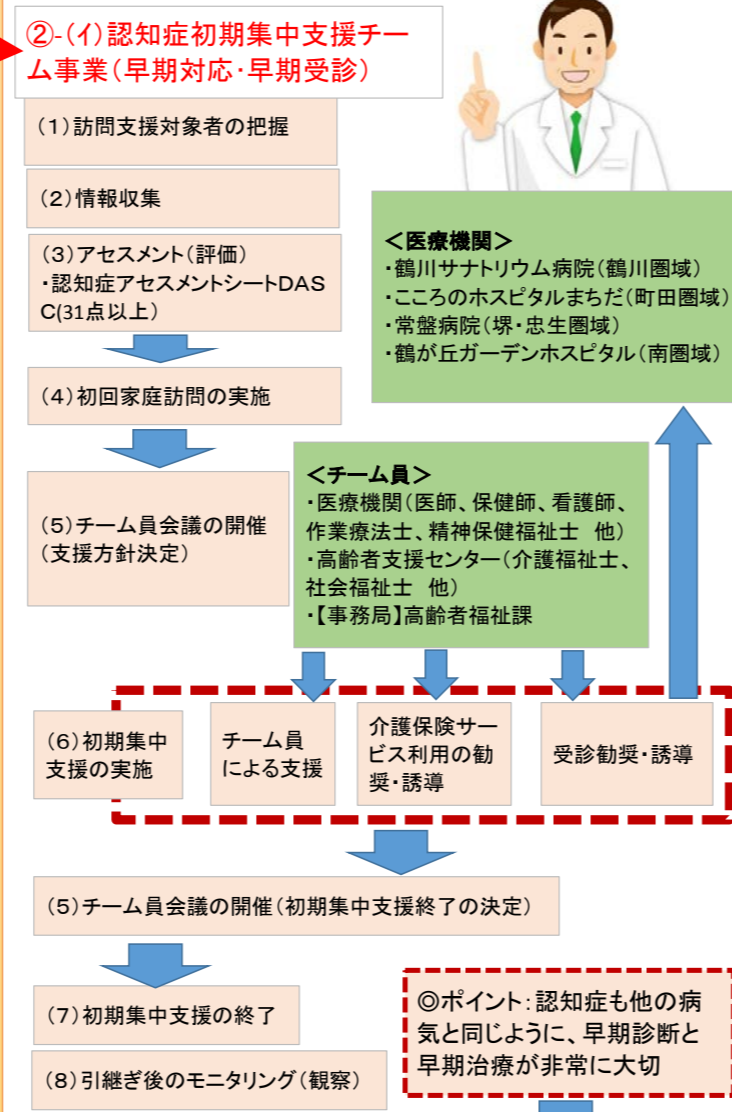
- 相談**
- 【本人・家族の相談先】
(1)高齢者支援センター
・総合相談支援
・もの忘れ相談
(2)認知症総合相談窓口(電話相談)
・高齢者福祉課
(3)地域の相談窓口
・かかりつけ医、薬局、居宅介護支援事業所、通所介護、訪問介護等
○情報源
・メディア、パンフレット、広報
・「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」(20点以上)など



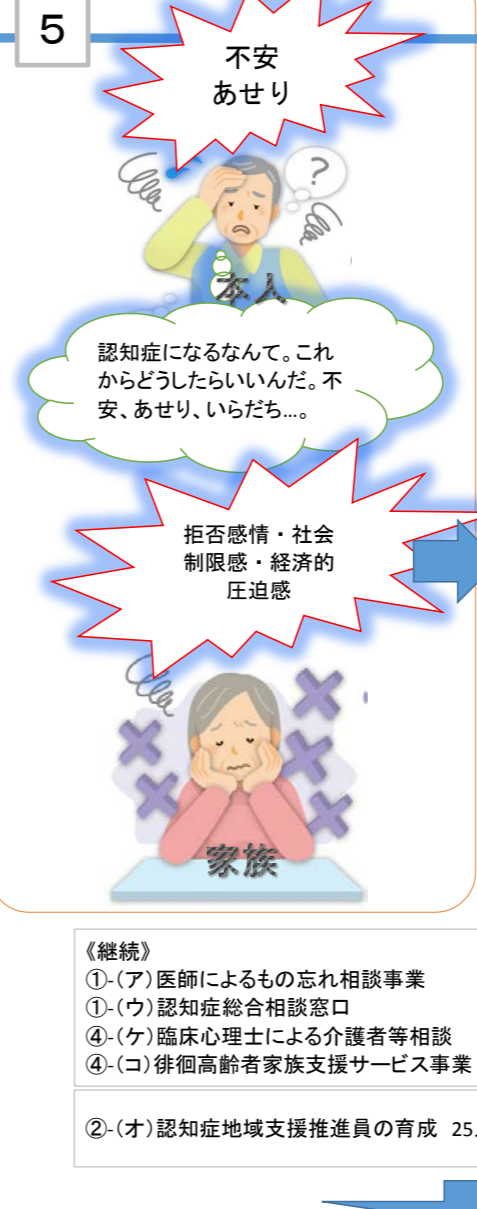
もの忘れによる失敗が増え、なんだかおかしい。でも病院に行くほどではないなあ...。(自分がこれまでとは違うことに、最初に気づくのは本人です。)

- 自ら相談されない認知症の疑いのある方**
- 【高齢者支援センターによる情報把握】
○情報源
・町内会自治会
・民生児童委員
・見守りネットワーク事業
・あんしん相談室
・介護予防普及啓発講座
・二次予防事業対象把握事業など

4



5



診断後の支援

- ③-(ク)認知症ケアパスの作成・普及
認知症の人やその家族が、認知症と疑われる症状が発生した場合に、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受ければよいか理解できるようにする。
- ③-(キ)町田市認知症施策推進協議会における協議・検討
- ④-(サ)(仮称)認知症カフェの設置(新規)

「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会」の実現を目指す

基本理念 高齢者の尊厳が守られ、人生の豊かさが実感できるまち ～地域で支えあい健やかで自分らしさを感じられるまちの実現～					備考 (NOは第5期)	
基本目標	基本施策	取組みの柱(主な取組みを束ねる柱)	主な取組み(案)			
1. いきいきと安心して地域で暮らしている	(1) 地域包括ネットワークの構築	①高齢者支援センターの機能の強化と周知	高齢者支援センター機能強化 介護保険制度の周知（出前講座、フリーペーパー発行など）	新規	65	
		②緊急時等の地域連携機能の強化	災害時の体制の整備・充実	65		
		③地域のネットワーク作りの強化	(ア) 見守り支援ネットワーク（町内会・自治会等によるネットワーク構築） (イ) あんしん相談室（高齢者の見守り支援を専門とした相談機関） (ウ) 高齢者あんしんキーホルダー事業（外出先で、緊急搬送された際の緊急連絡先などの確認）	—	—	
	(2) 社会参加の推進と介護予防	①介護予防プログラムの充実 ②生活支援・介護予防の担い手の育成 ③介護予防の普及啓発	介護予防教室	介護予防月間（センターや市民と協働での開催）	48	49
			新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施	地域の高齢者の通いの場の創設（体操の場）	新規	新規
			地域支援事業の構築	地域資源と連携した生活支援等の創出	新規	新規
					新規	
	2. 住み慣れた地域での生活継続の推進	(3) 医療と介護の連携による自立生活の支援の推進	①在宅医療・介護連携の推進	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト（研修の実施、情報共有ツールの検討）	新規	
			②在宅高齢者の家族介護支援	(ア) 家族介護者教室（要介護高齢者の家族等に対する介護方法の学習） (イ) 家族介護者交流会（要介護高齢者の家族の負担軽減や家族同士の情報交換）	52	53
		(4) 統合的な認知症ケアの体制作り	①軽度認知症の支援強化	(ア) 医師によるもの忘れ相談事業（認知症に関する専門医との相談）	52	
(イ) 認知症サポーター養成講座事業（養成講座、フォローアップ講座）				52		
(ウ) 認知症総合相談窓口（認知症に関する電話相談、関係機関との調整）				66		
②認知症早期対応・早期受診の支援			(エ) 認知症ケアに関わる多職種協働研修の推進（医療と介護等の統合的な認知症ケア）	新規		
			(オ) 認知症地域支援推進員の育成（医療と介護及び地域の支援機関をつなぐコーディネーター）	67		
			(カ) 認知症初期集中支援チーム事業（早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築）	新規		
③認知症生活機能障害に合わせたサービス体制の整備		(キ) 町田市認知症施策推進協議会における協議（認知症施策推進のための関係者協議）	52			
		(ク) 認知症ケアパスの作成・普及（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）	新規			
④認知症高齢者やその家族等をサポートする仕組みの充実	(ケ) 臨床心理士による介護者等相談（認知症高齢者と家族介護者を対象とした相談）	52				
	(コ) 徘徊高齢者家族支援サービス事業（現在位置探索システムの利用） (サ)（仮称）認知症カフェの設置（認知症の人とその家族、地域住民、専門職等が集う）	53	新規			
3. 自分にあった介護保険サービスを利用できている	(5) 在宅を支える介護サービスの充実	①在宅介護を支える介護保険サービスの整備促進 ②介護保険サービスの品質の向上 ③適切な介護保険サービスの利用	地域密着型サービス整備（在宅介護の推進、認知症や医療ニーズの高い方の支援）	57		
			ケアマネジメントの充実（主任ケアマネ研修の継続実施）	62		
			福祉サービス第三者評価受審（評価受審の助成、指摘箇所改善の確認）	62		
			介護相談員派遣事業（利用者や家族の相談者の福祉施設への派遣）	62		
			介護人材開発事業（団体に対する事業経費の補助）	63		
			事業者実施指導（サービス提供への確認助言、管理者研修等）	64		
			介護情報突合（給付実績を活用した介護報酬等の適正化など）	64		
	給付費通知（利用者の確認のための給付費通知の送付）	65				
	(6) 自分にあった施設や住まいの選択	①在宅継続にむけた住宅改修等 ②多様な住まいの確保	ケアプラン点検事業	新規		
			高齢者住宅設備改修給付事業	55		
住宅改修・福祉用具の点検（改修状況の確認） 住宅改修・住宅アドバイザー制度（アドバイザーの派遣） 有料老人ホーム等（特定施設入所者生活介護の普及）			65	55		
		広域型介護保険施設整備（要介護認定者の増加、待機者の状況への対応）	59			

地域包括ケアシステム

第6期町田市介護保険事業計画期間の主な取組み(案)(2015年度～2017年度)

20140821第3回町田市高齢社会総合計画審議会(資料4-4)

【計画期間の主な取組み】

事業名	事業概要	2014年度 までの実績 (見込み)	第6期計画目標値		
			2015 年度	2016 年度	2017 年度
ア. 医師によるもの忘れ相談事業	高齢者やその家族が、認知症に関して専門医との相談が気軽に出来る事業です。	高齢者支援センター12箇所 で実施	144回	144回	144回
イ. 認知症サポーター養成講座事業	認知症高齢者が住み慣れた地域で、安心して住み続けられるよう、認知症についての正しい知識と理解を、広く市民に啓発して行きます。認知症サポーターは地域を見守り、認知症の人とその家族を支えます。また、フォローアップ講座では、認知症サポーターに対し、具体的な関わりについて学ぶ機会を提供しています。	認知症サポーター数: 12,000人	認知症サポーター数: 13,500人	認知症サポーター数: 15,000人	認知症サポーター数: 16,500人
ウ. 認知症総合相談窓口(電話相談)	認知症に対する不安やその症状などについて、高齢者福祉課内に設置された窓口で、専門の相談員がお受けします。	電話相談1箇所 設置	継続	継続	継続
【新規】 エ. 認知症ケアに関わる多職種協働研修の推進	医療と介護等が相互の役割、機能を理解しながら、統合的なケアにつなげていくため、認知症ケアにおける多職種協働の重要性等を習得する認知症多職種協働研修を実施します。	—	実施	継続	継続
オ. 認知症地域支援推進員の育成	各高齢者支援センターの職員を対象に、認知症地域支援推進員を複数名育成し、認知症の方やその家族からの相談に応じて適正な機関と連携を図ります。	27名	継続	継続	継続
【新規】 カ. 認知症初期集中支援チーム事業	家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を複数の専門職が訪問し、専門医療機関を受診するための支援や介護保険サービスの調整、家族への支援など、包括的、集中的に支援を行い、自立生活をサポートします。	2圏域	4圏域	継続	継続

事業名	事業概要	2014年度 までの実績 (見込み)	第6期計画目標値		
			2015 年度	2016 年度	2017 年度
キ. 町田市認知症施策推進協議会における協議	認知症高齢者を支援するための施策の推進について、関係者で協議します。	年2回 開催	継続	継続	継続
【新規】 ク. 認知症ケアパスの作成・普及	認知症の人の生活機能障害の進行状況に合わせ、どのような医療・介護サービスを受けることができるのかをあらかじめ、標準的に決めておく「認知症ケアパス」を作成し、普及に努めます。	作成	普及	普及	普及
ケ. 臨床心理士による介護者等相談	認知症高齢者を介護している家族や認知症について不安を抱えている本人を対象に、介護認知症の理解を高め、孤立感や介護ストレス、不安の軽減などをアドバイスします。	高齢者支援センター12箇所 で実施	144回	144回	144回
コ. 徘徊高齢者家族支援サービス事業	現在位置を探索するシステムにより、認知症などのある方が行方不明となった場合に、ご家族からの問い合わせに応じます。	*GPS 実利用人数 78人	継続	継続	継続
【新規】 サ. (仮称)認知症カフェの設置	認知症の人の家族の介護負担の軽減などを図るため、認知症の人とその家族、地域住民、専門職が集う(仮称)認知症カフェを開設します。	—	設置	設置	設置